

令和8年度 神楽小学校経営ビジョン

【学校教育目標】 「未来に向かって進んで学び たくましく生きる子どもの育成」

考える子(知) ～かしこく～

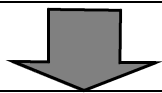
助け合う子(徳) ～なかよく～

じょうぶな子(体) ～たくましく～

目指す学校像 神楽中・神楽岡小・ 神楽小の共通目標	○児童にとって、安心して通うことができ、安心して学ぶことができる楽しい学校 ○教職員にとって、働きがいと活気がある学校 ○保護者・地域にとって、児童の成長が見える信頼できる学校
育成する 資質・能力 神楽中・神楽岡小・ 神楽小の共通目標	○自ら進んで課題に向き合う力 ○あきらめず柔軟にやり遂げる力 ○他者と共働して相互に高め合う力 ○自分のよさを発揮する力
年度の 重点教育目標 神楽中・神楽岡小・ 神楽小の共通目標	主体的・協働的に学び、粘り強く心と体を鍛え、 地域を愛する子どもの育成
経営の基本方針	子どもが主役、そして先生も主役

令和7年度 学校評価項目	※昨年度比：上昇↑ 下降↓ 維持→	教 員	児 童	保 護 者
①学習の基礎・基本が身に付いている		2. 8 ↑	2. 5 →	2. 2 ↓
②学校の授業が楽しいと思っている		2. 4 →	2. 6 ↓	2. 3 ↓
③進んで家庭学習に取り組んでる		2. 5 ↑	2. 2 →	1. 9 ↓
④毎日同じような時刻に寝たり起きたりするなど、生活リズムが整っている			2. 1 ↓	2. 2 ↓
⑤外国語や外国の文化に興味がある		2. 7 ↑	1. 9 ↓	1. 9 ↓
⑥学校は、地域の方や施設などを活用した体験活動を行っている		2. 5 →	2. 7 →	2. 4 ↓
⑦集団生活を通して人のために仕事をする、善悪の判断ができるなど、豊かな心が育っている			2. 7 →	2. 4 ↓
⑧時と場に応じた挨拶ができる		2. 9 ↑	2. 3 ↓	2. 3 →
⑨進んで仕事や手伝いができる		2. 9 ↑	2. 3 ↓	1. 8 ↓
⑩学校での出来事を家で話している			2. 4 →	2. 2 ↓
⑪学校で嫌な思いをしたとき、先生や友だち、家の人に相談して解決することができている		2. 9 ↑	2. 4 ↓	2. 3 →
⑫進んで体を動かすことに取り組んでいる		2. 5 ↑	2. 2 →	2. 2 ↓
⑬自分の「良いところ」や「得意なこと」を将来に役立てたいと思っている		2. 7 ↑	2. 5 ↓	1. 9 ↓
⑭学校から出るお便り（通信など）に必ず目を通して			2. 7 ↑	2. 7 →
⑮情報通信ネットワークなどの情報手段を利用するときの約束事を守っている		2. 8 ↑	2. 4 ↓	2. 2 →
⑯学校に楽しそうに通っている（令和7年度新設項目）		2. 9	2. 6	2. 6

【評価尺度の変更】※R6年度まで3段階評価（3P、2P、1P）の平均値 ※R7年度より4段階評価（3P、2P、1P、0P）の平均値
子どもと先生が「学校が楽しい」「授業が楽しい」「神楽が好き」と感じる気持ちを高めたい



子どもも先生も、みんなが笑顔で楽しさを実感できる「神楽笑楽校」をつくる具体策		
【新規】①一人一人の教育的ニーズ等に応じた支援の充実を図るため、特別支援学級における「副担任制」の導入 ②多様な他者との関わり通して、コミュニケーション力の向上を図るための複数学級配置学年のクラス替え（予定：新2年生、新4年生、新5年生 2月03日現在）		
合い言葉「わくわく」	合い言葉「にこにこ」	合い言葉「いきいき」
☆主体的・対話的で深い学びの実現 →「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的充実 →ESDの視点を取り入れた探究学習の充実 →誰もが安心して学べる仲間づくり →探索的会話が学べる学び合い・聴き合う関係づくり →困り感を大切に授業 →子どもの活動時間を確保した授業 →学びを貴く「問い」を考える授業 →学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業 →学年に応じた学習習慣の確立・定着を図る取組	☆「自分が嫌なことは、他の人にも しない、言わない、送信しない」約束の徹底 →コミュニケーション力の育成～挨拶、言葉遣い →多様な価値観を尊重し、社会性を育む道徳教育・人権教育の推進 →自分と他者の心や未来を想像する力の育成 →いじめ防止基本方針に基づく組織的対応 →主体性と自分を律する心を育む取組 →人のために役立ちたいという意識や態度の育成 →交通ルールの徹底と防犯・防災意識の向上	☆自信をもって挑戦する心と態度の育成 →自分の「よさ」や「得意」を活かして、粘り強く、挑戦する心の育成 →自分の健康と安全を守りぬく判断力と実践力を育む取組 →運動量を確保し、協働的に学ぶ授業 →全ての子どもが「運動が楽しい」と実感できる授業 →運動の日常化を図る取組 →望ましい生活習慣の確立・定着を図る取組
神楽中・神楽岡小・ 神楽小の共通目標 ウェルビーイング（自己肯定感、自己有用感、人とのつながり、利他性）を大切にする学校風土の醸成		